

令和6年度徘徊SOSネットワーク事業 認知症徘徊模擬訓練実施報告(種生町内)

回 覧



10月20日(日)に『認知症徘徊模擬訓練』を種生の方々のご協力のもとで開催いたしました。曇天の日、種生集落開発センターなどにおいて学びのある模擬訓練を行うことができました。お礼も兼ねてご報告させていただきます。

★参加者数:57人(種生町民34人、介護保険サービス事業所及び関係者17人、市職員6人)

【第1部】 種生町内の人と関係者などによる寸劇

- 種生に在住の83歳洪川えいいち(仮名)さん[認知症の疑いがある]は妻フジさんと2人暮らし。妻が夕方に帰宅したら、家にいません。妻は辺りを捜しますが見当たりません。
- 困った妻が近所に声をかけ、えいいちさんが行きそうな郵便局に連絡したり、町内の人や介護施設関係者も一緒に対応を検討し、警察に届け出て、町内で捜索することにしました。



【第2部】 捜索体験

地図と本人の手がかり(背格好や服装)が書かれた情報シートを片手に、町内の方と市内介護保険サービス事業所職員など3人1組になり、7組が分担して5方面を捜しました。



あの先に行ったら、分かれて捜そう

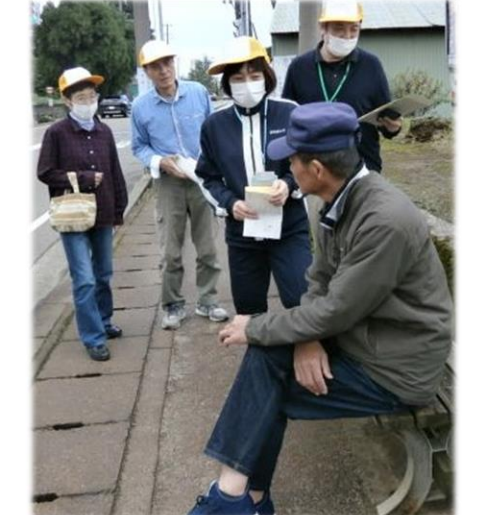


その頃、えいいちさんは・・・



役を演じてくれたのは、地域支え合いを推進する生活支援コーディネーターの岡元さん(千田地区担当)です。

本人を発見！
びっくりされないように優しく
「どこにいくのですか」と尋ねました。



靴のかかとに認知症見守りステッカー(裏面に説明あり)が貼ってあります。

裏面もご覧ください

【第3部】交流会

～寸劇の出演者と参加者との意見交換～



●町内の方から

- ・班長になると各世帯に声を掛けながら回って配り物とか、募金集めが大変。その分、班のお宅の様子が分かり、気配りが必要なお宅などを見守れる。
- ・近所付き合いでお互いの家庭の状況を知っていると、いざという時に協力し合える。
- ・町内行事や福祉会行事は、みんなが楽しめる活動をしている。みんなと話をすることは認知症の予防にもつながるので、積極的に参加してもらいたい。
- ・高齢者のいない家の子どもは、どう高齢者の方に声をかけてよいか戸惑うようだ。若い子たちにも教えていける機会があるといい。

●介護保険サービス事業所及び関係者から

- ・徘徊は元気な人がするので、思いのほか遠くまで行ったり、反面、意外と身近な所にいたり千差万別。早めに見つけられるよう警察への連絡や頼れる人に相談することを勧める。
- ・認知症見守り隊笑和会(しょうわかい)は、認知症高齢者宅に訪問し、本人や介護者のお話し相手をしている。本人や介護者の心の安定につながるように話を聞いている。
- ・認知症は身近な家族や日頃付き合いのある人が気付くことが多い。本人だけで主治医に通院している場合より、家族も診察に同席し相談することで、早めの診断や治療につながる。困った時には、地域包括支援センターに相談して欲しい。

【認知症見守り事業】・・・事前登録とステッカー交付



登録ナンバー入りの反射ステッカー
大きさ 4 cm × 1.5 cm

徘徊の心配がある人の緊急連絡先や特徴、写真を事前に市に登録しておき、警察と共有しておくことで、保護した際にスムーズに家族に連絡をとる制度です。靴や杖などに貼っておくことで、本人が言えなくても登録ナンバーからの照会が可能です。ステッカーを貼っている人が困っているような際には、優しく声をかけてください。
問合せ先：福祉課

●長岡地域振興局 健康福祉環境部 地域保健課 小林さんより講評

- ・認知症の予防には、人と触れ合う機会を増やすため、地域の顔なじみの人が声をかけ合い、一緒に活動することが大切。蕨生町内では温かいつながりや見守り体制がある。
- ・地域のつながりを大切に持ちながら、安心して暮らし続けられるよう、サービス等を活用しながら支援の輪を広げて行きましょう。

みなさん本日はありがとうございました。蕨生町内では班編成を見直して、見守りや支え合いをしていきます。いざという時には、町内で力を合わせていきましょう。

杵淵町内会長



●介護保険サービス事業所さんなどのご参加ありがとうございました！

モス・コーラデイホーム
健康倶楽部中子の森
地域包括支援センター
笑和会

<アンケート結果より>

●検索訓練を通じて

- ・寸劇の流れでどんな事したらよいか分かりました。
- ・「探す時は1人で動かないで、周りの人に声をかけてみんなで捜した方がいい」、「声が掛かったら、積極的に駆け付けたい。」など協力し合おうという感想が多くありました。
- ・捜索時に会う人は少なかったけど、親身に対応してくれて温かみを感じました。
- ・認知症を隠さないで、民生委員や町内、隣近所に伝えておくことで周りが見守ってくれるので知らせる事が大事だと思います。

●町内を歩いて気づいた危険なところ

- ・車のスピードが出る車道、途中から蓋が無くなる側溝、線路、踏切、草むら、農道、山道、沢、川など

認知症の人に優しい地域は、誰にとっても優しい地域づくりにつながります。蕨生町内はみんなで支え合って暮らしていく地域づくりの取組がなされており、素晴らしいと思いました。

蕨生町内会や蕨生福祉会などの皆さまとの協力体制のもとで、7月・9月の企画会議や10月の認知症予防講演会、今回の認知症徘徊模擬訓練を開催できました。

ありがとうございました。

令和6年11月 福祉課 高齢福祉係 (電話 83-3517)

